



七つ星

7月号

令和2年6月30日

清瀬市立清瀬第七小学校
校長 鈴木 竜二

「問題解決の資質・能力の発揮」

教務主幹 小林 雄太

学校が再開してひと月が経ちました。分散登校から始まり、6月15日からは全員が一斉に登校するようになりました。健康観察表のチェックを受けてからの入室、気温が高い日のマスク着用、友達と1～2mの距離をおくこと、会話を控えて、対面でなく横並びでの給食など、これまで求めてこられなかったことに、子供たちの戸惑いが見られますが、学校が再開したことは、子供たちにとって喜ばしいことであると思います。

また、感染症対策のため学校行事の大幅な精選をせねばならず、運動会や学芸会、遠足などが中止となりました。これも学校行事を楽しみにしていた子供たちにとっては残念なことだったと思います。しかし、このような状況の中で、私たちは教育活動の原点ともいえる授業を通じて、改めて子供たちに学ぶ楽しさ、友達とかかわる良さを実感できるようにすることが大切であると考えます。

本校では昨年度までの3年間、「児童が主体的に問題を解決する生活科・理科の授業づくり」というテーマで校内研究を進めてまいりました。授業の中で、子供たちが自ら問題に気づき、それを解決していく中で、問題解決の資質・能力を身に付けていきます。

今年度は、今の学校生活の問題を、子供たちが自ら気づき、感染症予防や「新しい生活様式」を踏まえた上で、これまでとは違う形の学校行事や学級活動、児童会活動などを模索していくことが、これまで授業で培ってきた問題解決の資質・能力を発揮する一つの場面になると思います。子供たちが失敗を恐れず、「トライアル アンド エラー」を重ねていくことで、自ら新しいスタイルの学校を築いていこうという意欲を育てていきます。

学校が約3か月間も臨時休業になったのは、我々教職員にとっても未曾有の事態です。「学校でなければできないこと」「家庭に持ち帰ってできること」を明確にし、家庭と連携しながら基礎的・基本的な学力の定着や問題解決の資質・能力の育成をしていきます。家庭での学習でご協力いただくことも多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

子供たちの安全を第一に考えた上で、これまでの形にとらわれず、子供たちが充実した学校生活を送ることができるよう教職員一同努力してまいります。

7月の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 委員会①	2 安全指導 全員面接(5年)	3 心電図(1年) 朝の外遊び	4
5	6	7	8	9 全員面接(5年)	10 朝の外遊び	11
12	13	14	15	16 全員面接(5年)	17 朝の外遊び	18 授業日 (火曜時程・ 4時間・ 公開なし)
19	20	21	22	23 海の日	24 スポーツの日	25
26	27 個人面談① きらり個人面談 けひ個人面談 (5h授業)	28 個人面談② けひ個人面談 (5h授業)	29 個人面談③ きらり 終 けひ個人面談	30 個人面談④ 全員面接(5年) けひ個人面談 (5h授業)	31 個人面談⑤ けひ個人面談 朝の外遊び	8/1 授業日 (月曜時程・ 4時間・ 公開なし)

《お知らせ・お願い》

① 1学期の終業式は8月7日(金)です。

今年度は、1学期終業式が8月7日(金)、2学期始業式は8月24日(月)です。
例年とは違う日程なのでお気を付けてください。「あゆみ」は配布しません。
1学期の学習・生徒の様子は個人面談でお伝えします。

② 夏休みは8月8日(土)から8月23日(日)の16日間です。

授業時数を確保するため、例年よりも短い夏休みとなっております。ご理解ください。

③ 学校閉庁日(8月11日(火)～14日(金))について

今年度も、夏季休業期間中、8月11日(火)から14日(金)までの期間、学校閉庁日とします。この期間は、基本的に教職員は学校におりませんので、ご承知おきください。なお、万が一、生命に関わる重大事故、事件が発生した場合は、すぐに、警察署、消防署へ連絡してください。

また、清瀬市教育委員会(042-497-2552)へもご連絡いただきますようお願いいたします。

◆◇学校再開◆◇

6月1日(月)から13日(土)まで毎日3時間ずつ午前と午後のグループに分かれ分散登校をしました。校舎に入る前は、ソーシャルディスタンスを守って列に並び、健康観察表をチェックしてから入るようにしました。3時間だけの授業でしたが子供たちの笑顔や笑い声が校舎に戻り、学校が一気に明るさを取り戻しました。15日(月)からは通常登校となりました。暑くなってきたので、4、5、6年生は体育館で健康観察表の受付を待ち、けやき学級は体育館横の日陰に並んで待つようにしました。分散登校で慣れてきたため、子供たちは自然に密にならないように間隔を空けて列に並んだり、校舎へと歩いたりできるようになっていました。校舎へ入ってからはすぐに手洗いをするようにして、学年ごとに手洗いで使う水道も分けて、密にならないよう注意しております。今後も子供たちの安全のため感染症予防に努めていきます。



◆◇放課後の消毒作業◆◇

学校では、児童の下校後に教職員全員で校内の消毒作業を毎日行っております。次亜塩素酸ナトリウム0.05%をしみこませた雑巾やモップで、教室のドアや児童の机、椅子、階段の手すりにトイレの便座や床など、特に児童が手を触れる箇所を中心に拭いて消毒を行い環境衛生を良好に保つように取り組んでいます。児童の安全のためこれからも続けていきます。



☆☆保健指導☆☆

新型コロナウイルスの予防について、低・中学年は手洗い指導を中心に、高学年は病気にかかった人や医療従事者への差別や偏見について学習しました。

<低・中学年>

普段は何気なく行っている手洗いも、手洗いチェッカーを用いると普段洗い残してしまう部分を視覚的に見ることが出来ます。一番洗い残しが多かったのは手の甲と、手首の部分でした。手洗いの歌を歌いながら、毎日丁寧に洗うことで新型コロナウイルスだけでなく、全ての感染症の予防になります。

<高学年>

新型コロナウイルスや、その予防方法についてスライドを使って学習した後、日本赤十字社の動画教材を視聴して、差別や偏見について考えました。新型コロナウイルスに罹りたくない恐怖は誰にでもあるけれど、変な噂や情報に惑わされず、家族や友人と電話などでつながって笑いあえるような普段通りの生活をする大切さについて考えました。

また、今も新型コロナウイルスと闘っている医療従事者に心から感謝し、一人でも新型コロナウイルスに罹らないようにすることで医療従事者の方々の負担を減らせるようにみんなで頑張ろうと呼びかける映像を見て学習を終えています。



☆☆延長も始まりました☆☆

15日(月)より、給食が再開しました。久しぶりの給食に、「おいしかった!」、「もっと食べたい!」と喜びの声が多くありました。新型コロナウイルスの予防策として、以下の対応を行っております。

- ① 教員による配膳(6月15日から6月26日まで)：マスク、エプロン、帽子の着用。スプーンやはしなど、直接口に触れるものを触る際は、ビニール手袋を使用しています。
- ②前向き給食：班の形にはせず、前を向いて給食を食べています。会話は控え、食べ終わった後は、すぐにマスクを着用するように声をかけています。

